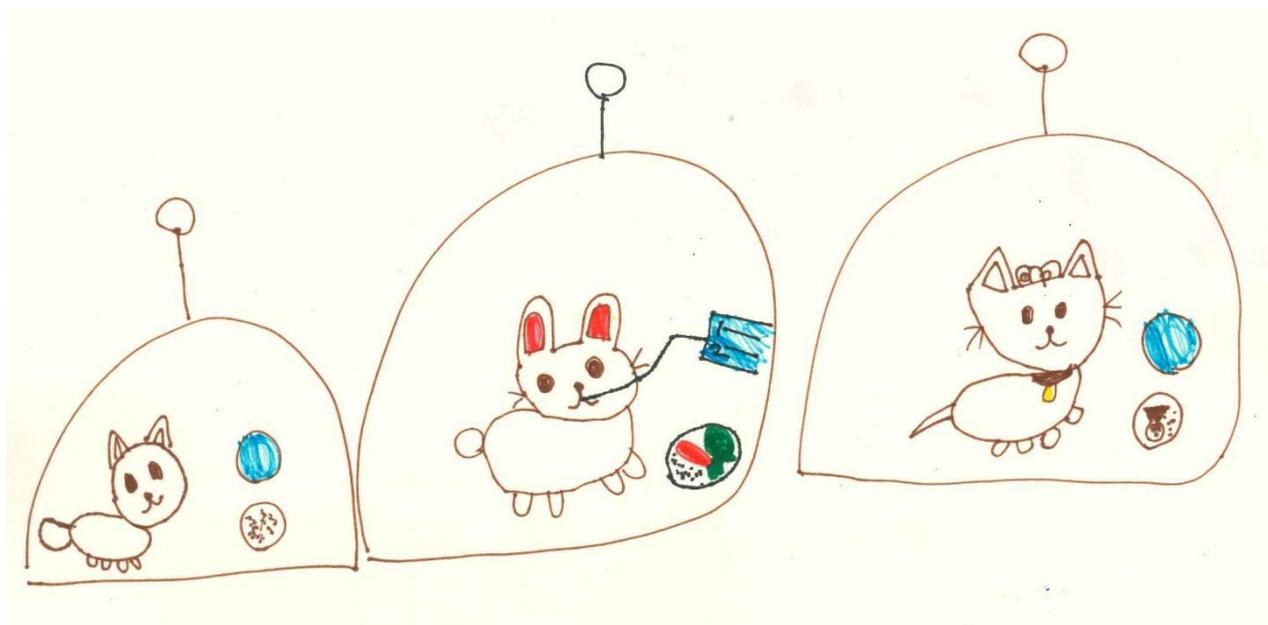


はっとこどもえん えんだより 2020ねん 1 がっごう



5歳児（ イヌとウサギとネコのおうち ）



★ 体育あそびについて

体育あそびは、1月9日(木)よりスタートします。

★ 発表会リハーサルの日程をお知らせします。

5歳児・・・1月20日(月)・27日(月)

4歳児・・・1月21日(火)・28日(火)

3歳児・・・1月22日(水)・31日(金)

全体リハーサル・・・2月5日(水)

詳細はPOPにてお知らせいたしますので、ご協力お願いいたします。

★ 体調管理について

インフルエンザにかかった場合、感染力が強く、流行のスピードも速いため、学校伝染病に指定されています。そのため、治癒後は、医師による登園許可をもらった上で登園してください。

その際には『意見書』(職員室にありますので、職員にお尋ね下さい)に医師の証明をいただき、ご持参下さい。

その他、園での体調変化があり、ご連絡した場合は早めの対応・処置をお願いします。

日頃から、しっかり食事を摂り、うがいや手洗いをしっかり行ない、十分な睡眠をとるように心掛けて体調管理に気をつけましょう。

★ 緊急連絡先について

保護者の方の連絡先(携帯電話・勤務先など)に変更があった場合、すぐに園へお知らせください。



自分達の生活を表現する場

園長 ^{かたやま} 片山

あけましておめでとうございます。今年も子供たちにとって面白いことや楽しいことが待っている園、期待をもって登園したいと思えるような園にしたいと願っています。

保護者の皆様には、ご協力を頂くこともあるかと思えます。職員一丸となって、子供 1 s t の理念に向かって園文化を創りあげていきたいと考えております。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

今月より、生活発表会へ向けて本格的なおけいこが始まります。1年の生活の締めくくりに、2～5歳児それぞれ個々の成長をご覧頂きたく思います。子供たちも父や母や兄弟姉妹や祖父母に見てもらうからこそ、やりがいを感じたりします。

はっとこども園の特色の1つとして、演出の方法や練習において、クラスの担任が中心にはなりますが、乳児や幼児、栄養士、看護師、事務員と担任という枠に留まらず、職種を越えた職員で担当グループをつくって、1つの劇づくりに臨むということがあります。保育者集団の意図と子供たちの想像や創造をうまく混ぜ合わせながら、当日を迎えられるようにします。「子供同士でとことん対話する」、「物怖じしない子供になってほしい」という願いや目標を掲げるのであれば、職責や保育経験、年齢に関係なく、保育者同士もとことん話し合うことができるか、物怖じしない先生でいられるか、そこも問われているように思っています。私たち自身がその姿勢を大切に、願いや目標を掲げ行動し、子供たちの力を最大限引き出せるよう関わり、教育効果を高めたいと考えております。

これまで培ってきた大切な考え方や揺るぎない方針がある一方で、生活発表会当日のスタイルは例年と違った形式になる部分もあります。

1つめは、これまでよりも1クラスあたりの発表時間が長くなります。これは劇あそび自体が長くなるということではなく、歌や合奏などの場を豊かにすることもそうですが、写真や動画を用いて子供たちが春・夏・秋・冬と年間を通して成長してきた様々な姿をご覧頂く時間も設けたいと考えていますので御期待下さい。

また例年と異なり、2歳児クラスについては別日で開催致しますことをご了承下さい。

2つめは、2部制だったのがクラス単位で見いただくということになります。これまで、会場内は2クラスの保護者が集まるようになるので1家庭4人という制限を設けていました。今回は1クラス毎に席に着くようになりますので、その規制が緩まることになり、より多くの家族等が自身の子や孫等を見られることになります。最前列は常に該当クラスの保護者が観覧できることにもなります。会場レイアウトの選択の幅を持たせることもメリットであると考えています。

新しいスタイルとなるため、賛否さまざまなお意見があるかとは存じますが、ご理解とご協力を宜しくお願ひいたします。



伝承遊び

主幹保育教諭 はら 原

年の暮れによく歌われる、「もう い〜くつねると お正月〜」が歌い出しの『お正月』という曲は、皆さんも馴染みのある曲ではないでしょうか。一番の歌詞では、「お正月には 凧あげて こまをまわして 遊びましょう」と男の子向けの正月遊びが、二番の歌詞では「お正月には まりついて おいばねついて 遊びましょう」と女の子向けの正月遊びが歌われていて、子供たちが正月の到来を待ち望む内容の歌になっています。年末年始になると、このような唱歌・伝統や伝承といった事柄に触れる機会が多くあります。また、お正月の歌にもあるような、昔から引き続き伝承されている遊びをする機会もあったかと思えます。伝承遊びといわれる遊びは、個人的に楽しむものや一人二人と徐々に仲間を増やして楽しむもの、大勢でいっしょに楽しむものなど様々です。そのどれもが、遊びながら他の子供と関わり、他者との関係性を築けるような物が多いです。遊びの中で、他者への理解、社会的ルール、コミュニケーションの能力などが育っていき、社会性が培われていきます。また、数的概念や科学的体験が入っていたり、問題解決能力や洞察力、忍耐力などが育まれたりします。

馴染みのある伝承遊びの種類と特性を紹介します。「お寺の和尚さん」「ケンパ」「鬼ごっこ」など、手や足や身体を直接使って楽しめるものが多いです。この手足を使うことによって脳がより刺激されます。「かごめかごめ」「はないちもんめ」など、歌やリズムに合わせて遊ぶものも多く、リズムの楽しさを味わうだけでなく、遊んでいる子の周りの雰囲気も楽しくなり、周りの子が仲間に入りたくするような効果もあります。「ゴム跳び」「コマ遊び」など、遊びがとてもシンプルな物が多いです。遊びの技術が次第に高度に発展していくものが多いので、同じ遊びを長く続けていても飽きることなく、チャレンジする楽しみがあります。さらに、伝承遊びというのは、長い間、子供の世界で受け入れられてきた為に、子供の興味関心や発達に合ったものです。その上、ケガの危険性についても長い間の実証があるので安心してできます。

園では、かごめかごめ・あぶくたった・はないちもんめ・なべなべそこぬけなど体を動かして遊ぶあそびや、わらべうたを大人や異年齢のお兄ちゃんやお姉ちゃん・友達同士で遊んだりしています。幼児クラスでは、あやとり・おりがみ・コマ回し・カルタとり・おはじきあそび・すごろくなど子供たちの興味関心に合わせて提供し遊んでいます。電子化、機械化していく世の中で、あえて伝承あそびの話を書かせていただきました。新しい年、タブレット端末などのICT（情報通信技術：さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称）と伝承遊びを組み合わせながら、これからの時代の遊びを作っていきます。現に、難しいあやとりはYouTubeを見ながら作り方を見て覚え、友達と教え合い作り合って遊んでいます。伝承遊びでの学びを大切にしていきながら、現代だからこそできる様々な取り組みを活かし、人と人が交じり合いながら育む関係性や、子供の生きる力を培っていきたいと思います。



お台所の先生から



いづみち こんどう
岩淵、近藤

行事食の紹介 ◆

冬はクリスマスや年越し、お正月などの行事があり、食卓にはさまざまな料理が並びます。今回はお正月をテーマにお雑煮と七草粥について紹介します。

～伝統的で地方色豊かなお雑煮～

お餅は昔からお祝いごとや特別な日に食べられており、新年の豊作や健康でいられることを願い、お正月にお雑煮を食べていました。お雑煮は日本全国さまざまなものがあります。東日本では角餅、西日本では丸餅を主に使う傾向があります。また、お汁の味付けは関西地方では白味噌仕立て、東日本と近畿を除く西日本では澄まし汁が多いそうです。中には白味噌仕立てのお汁にあんころ餅が入っていたり、ぜんざいにしたり、きな粉餅にして食べたり、焼いたお餅を入れたりするなど地域や家庭によっていろいろな食べ方があるようです。



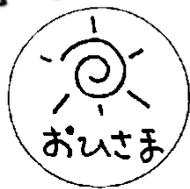
～1月7日は七草粥の日～

七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれています。そこで、無病息災を祈って七草粥を食べたのです。七草はいわば日本のハーブ、そのハーブを胃腸に負担がかからないお粥で食べるものなので、正月疲れが出始めた胃腸の回復にもいいとされています。今年度は7日のおやつで子供たちに七草粥を提供します。

七草粥に入れる7種類の若葉



くまのたから



〇さい 1さい
おいさまぐみ

ふくやま おおしま
福山 大嶋
たけなか いとう
竹中 伊藤



12月の振り返り



サーキット

バランスがとれるようになり、しっかり踏ん張れるようになってきました。平行棒はカニ歩きや足を左右順番に出して歩けるようになってきています。跳び箱の上からのジャンプは高く跳んだり、不安な子も保育者が手を持つと跳び下りることができるようになってきました。12月からは0歳児の歩行が確立した子供たちも参加しています。いろいろなユニットに目をキラキラさせながら見てみたり、笑顔で坂道を上り下りしたりする姿が見られます。1歳児のお友達も0歳児のお友達が前にいると、待ってくれるなど成長を感じます。

戸外あそび

- 〈赤・青グループ〉園庭に行って遊ぶことが増えてきました。園庭を歩いたり築山をハイハイで登ったり、積極的に探索活動を楽しんでいます。自分の行きたいところに自由に行けることが楽しいようです。葉っぱを見つけて手に取ったり、ぐちゃぐちゃとちぎってみたりして感触を楽しんでいます。
- 〈黄・緑グループ〉築山の裏の階段の上り下りが上手になってきました。今までは怖くて見下ろすだけだったり、おしりを着いてからゆっくり降りたりしていましたが、最近はジャンプで降りる子もいます。葉っぱをたくさん集めて降らしてみたり、きれいな葉っぱを大切に持ち歩いたり、木の実を見つけてままごとの材料にしてみたり季節を感じながら遊んでいます。

コーナー・ゾーン

- 〈赤・青グループ〉絵本コーナーがお気に入り、絵本を選んでほめて見えています。また、ほかほかだけでなく、めばえのスペースに移動し1歳児のお友達が遊んでいる事に興味を持ち、近づいてきて真似をしようとする姿がよく見られます。積みあげている積み木を崩してみたり、繋げている線路を触ってみたりと一緒に遊ぶことは難しいですが、いろいろなことを見て学んでいるようです。
- 〈黄・緑グループ〉ごっこ遊びが上手にできるようになってきました。ハンカチをゴシゴシ洗ってサークルのところに干す洗濯ごっこをしたり、ケーキを作ってお誕生会ごっこをしていました。おしゃべりも上手になってきて、お友達と会話を楽しみながら遊ぶ様子がたくさん見られました。

感触あそび

トイレットペーパー遊びをしました。部屋のあちらこちらにトイレットペーパーを引っかけておくと、恐る恐る引っ張る子供たち。今まで遊んだことがない物なので最初は不安そうでしたが、遊んでいいことが分ると引っ張りながら走ったりたくさん集めて降らしてみたり寝転んでみたり・・・どんどん大胆になっていきました。

食育

12月は「白菜」の食育がありました。子供たちの体の半分ぐらいある大きな白菜を目の前にし、びっくりして固まっていました。ツツツと触ってみたり抱きかかえて重さを感じてみたりした後、葉っぱをびりびりちぎりました。翌日、煮物にして美味しくいただきました。



1月の活動



サーキット

発表会で舞台を設置するため、床⇄舞台に上り下りする動きを取り入れます。
はしご上り→（舞台上）トンネルくぐり→（舞台上）フープのグージャンプ→すべり台を
駆け降りる→跳び箱をよじ登る→平均台をまたいで進む→平行棒の上を歩くというユニッ
トを行ないます。

戸外あそび

〈赤・青グループ〉 気温や体調に考慮しながら戸外遊びを行ないます。築山を上り下りしたり、小さな滑り台を滑ったりして遊びたいと思います。また、探索活動をして体をたくさん動かしたり、子供たちの興味のあることに寄り添いながら会話を楽しんだりしていきます。

〈黄・緑グループ〉 空気の冷たさやハ〜ッと吐いた時に出る白い息など、冬ならではの体験をしていきたいと思います。追いかけてこや簡単な鬼ごっこをして、体を動かして体がぼかぼかになる心地よさを感じ、寒さに負けない体づくりをしていきます。少人数のグループで散歩し、散歩のルールを守っていけるように伝えていきます。



コーナー・ゾーン

〈赤・青グループ〉 おままごとでは日常生活を取り入れながら、保育者が遊びを展開していこうと思います。また、机上遊びでは手・手首・指先を動かせる玩具で遊べる機会を作りたいと思います。階段上りや押し箱を押すなど体を動かせるようにしていきます。

〈黄・緑グループ〉 ままごと遊びが上手になってきたので、赤ちゃんのお人形やくまのぬいぐるみでお世話遊びをしようと思います。わらべうたを歌いながらあやす・ご飯をあげる・だっこするなど、お世話をする楽しさを伝えていきます。

室内あそび

米粉粘土・クレパス・リズムあそび

米粉に水・食紅を入れて混ぜ、米粉粘土と一緒に作っていきます。その後、こねたり伸ばしたりして、油粘土の感触との違いを感じてみたいと思います。クレパスでなぐりがきをしたり、何を描いたか見立てられるよう声掛けをしていきます。リズム遊びではスズだけでなくタンプリンにも触れていきます。

わらべうた

♪おしくらまんじゅう ♪だんごだんごくっついた ♪あぶくたった

ブルブルっとふるえてしまう寒い季節。お友達とくっつくあたたかいな〜気持ちいいな〜と感じられるわらべうたです。触れ合ったりワイワイ騒いだりしながら楽しく遊びたいと思います。

食育

1月は「ホットケーキ」を予定しています。粉のフワフワ感、水を加えた時のねちょねちょした感じ、ホットプレートにポタ〜んとたらし、焼いた時にプツプツと泡が出てくる様子、焼けた時の甘い匂いなど、一つ一つの工程を見たり触ったり味わったりして楽しみたいと思います。「しろくまちゃんのホットケーキ」の絵本が大好きな子供たちと、絵本を思い出しながら経験していきます。





2さい
なごさぐみ



12月の振り返り

かしはら やまおか ふじむら
梶原・山岡・藤村

うた

「あわてんぼうのサンタクロース🎅」（12月の教材曲）

お集まりで、たくさん教材曲を歌いました。1番の歌詞の“いそいで リンリンリン”のところは手を振り、2番の歌詞の“あいたた ドンドン”は手を頭に左右に当てて痛い表現をしていました。この動きが子供たちは楽しいようで、毎回笑顔で歌って身振り手振りしていました。お集まり以外にも、遊んでいる中、自然と友達同士で口ずさむ姿も見られ、子供たちにとって楽しい歌になったようです。

はさみ✂

はさみの活動を行ないました。ほとんどの子供たちが、はさみを使うことが初めてだったので、まず一回切りからスタートしました。初めてはさみを持ち「どうやってするの？」と聞いてくる子も、保育者が一緒に手を添えながら行なうと、「きれたよー！」と嬉しそうに教えてくれました。いつもより真剣な表情で活動する子供たちでした。引き続き、1月の活動でもはさみを行なっていきます。

リース作り

はさみで一回切りした紙を、紙皿にのりで貼っていきました。紙を何枚も積み重ねて貼る子や、それとは反対に紙同士が重ならないように貼る子、色ごとに分け考えながら貼る子など、様々な姿が見られました。きちんと紙が貼れているかどうか、紙皿を裏返して確認をする様子もあり、工夫しながらこだわった作品が出来上がりました。

さつまいもスタンプ

さつまいもを見せると「えー！！さつまいも!?!」「さつまいもで、いまからなにをするの!?!」と、驚いた表情と嬉しそうな表情を見せてくれました。子供たちの手元に渡すと匂ったり転がしたりしており、いざスタンプあそびが始まるとさつまいもをトントンと叩きながらスタンプする子や、画用紙にスーッとさつまいもを滑らす子がいました。

赤・青・黄の3色で行ないましたが、色が混ざり「みて！こんないろになったよ！」と色の変化も教えてくれる姿がありました。

食育

ブロッコリーの食育では、目の前で半分に切ったものを見せた後、子供たちが茎からふさを取り、取ったふさを湯がいて食べました。給食で出るブロッコリーが苦手な食べられなかった子も、食育ではマヨネーズにつけて美味しく食べていました。ほとんどの子供たちがおかわりをもらう程、大人気でした。

1月の活動



うた (今月の教材曲)

「どんないろがすき」

保育者が「どんないろがすき？」と聞くと、子供が「あかー！」や「あおー！」と好きな色を口々に言ってくれます。たくさんの色のワードが出てくる度に「〇〇色ってどんなものがあるだろうね」などと、仕掛けとして保育室や園内にある色を子供たちと見つけ、色の興味にも広がっていったら良いなと考えています。

その他、「ゆき」「豆まき」を歌います。



絵本

「いろ いろいろみつけた」

この絵本はいろいろな色が出てくると同時に“〇〇色は〇〇と同じだね”と、色と周りにある自然の物や食べ物と比べることが出来ます。青色は青色でも薄い青や、濃い色など絵本を通して見る事が出来るので、自然と色に興味をもつことができる絵本になっています。

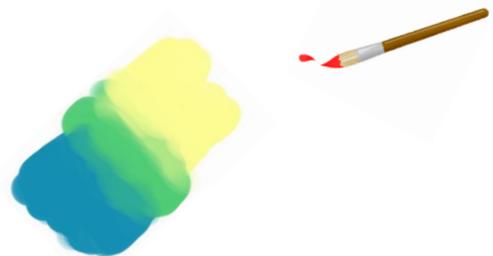
筆を使って色あそび

赤・青・黄の3色の絵の具を使い、筆あそびをします。赤と青が混ざると何色になるのか？水彩紙に出た色が、どんどん違う色に変化していく姿を見て「なんでこの色が出るのかな？」など、子供たちと会話を楽しみながら筆あそびをしたいと思います。



わらべうた

「もちっこやいて」「おしくらまんじゅう」



食育

「れんこん」

れんこんの食育をします。何で穴があいているのかな？切った後に糸が出るのはなんでだろう？など、たくさんの不思議を子供たちと見つけたいと思います。れんこんが苦手な子もいますが、子供たちが少しでも苦手を克服できるように、食育を楽しむことを考えています。切った後のれんこんはお鍋で湯がき、塩かしょうゆをつけて食べようと思っています。



表現あそび

『がらがらどん』『大きなかぶ』『てぶくろ』など絵本を題材に、子供たちが役になりきって表現あそびをしていこうと思います。



12月の振り返り



さわね いすみ のうそ
澤根・和泉・能宗

うた

「サンタはいまごろ」（12月の教材曲）

今月は子供たちが楽しみにしているクリスマスがありました。サンタクロースは歌詞にあるように、洋服を洗濯したり、袋を作ったりして、みんなに会う日を待っているんだってと伝えると「えー！」と驚いていました。「シャンシャンシャラー♪」と歌うところで子供たちは自然と両手をキラキラさせて歌っていました。歌う度に、サンタさんがくる日を楽しみにしている可愛い子供たちでした。

♪その他、「あわてんぼうのサンタクロース」「クリスマスのうたがきこえてくるよ」「ゆげのあさ」「お正月」を歌いました。

タンポを使ってクリスマス製作

☆クリスマスツリー

「どんなプレゼントがほしい?」「どんなツリーのところにサンタさん来てくれるかな?」と対話をしてから始めました。タンポを見て「たこやき」みたいと言ったり、タンポの形を活かして花の形にしたり、ポンポンポンと口ずさんだりとそれぞれに楽しみました。また、クリスマスソングを流しながら描き、クリスマスカラーの意味についても学びました。



☆クリスマスリース

のりを使う時は、つけすぎないように、少しずつ指先で取り、つけすぎた時は、のりの入れ物のふちにつけるよ（調整するよ）と伝えながら行ないました。ペーパー芯をスズランテープに通す時はひも通しをするようにして、真剣な表情で頑張っていました。クレヨンで描いたり、画用紙を貼ったりして素敵なリースができました。

楽器

保育者が「小さな世界」の曲に合わせて楽器を演奏しているビデオを見て、「〇〇先生だ!」と興味を持って見ていました。何度も見ていると、ビデオに映っている保育者の楽器のリズムを真似て手拍子をする姿がありました。タンブリン・鈴・カスタネット・トライアングルの中から好きな楽器を選んでビデオを見ながら自分の楽器と同じ楽器のリズムを練習しました。終わる度に子供たちが「もう1回やりたい!」と意欲的で、楽器を変えて楽しみながら行ないました。

サーキット

ポイントレッスン「鉄棒：つばめ」

自分で鉄棒に乗ることができる子が増えてきました。手や足をピンッと伸ばしてバランスをとることを意識して行ないました。

「その場跳び乗り（3・4段）」

助走をつけずに、ロイター板を跳んで跳び箱に手をついてまたがります。飛び箱を跳ぶことに繋がるように、遠くに手をつくことを伝えながら行ないました。

食育「クリスマスケーキ」

混ぜるとサラサラから少しずつ生地が変わる様子を楽しみながら、「20回混ぜるよ」と伝えると20まで数えながら順番に交代して混ぜて生地を作りました。丸い形に焼きあがったケーキをみんなで均って「良い匂いがするー!」と嬉しそうでした。クリームも自分たちで好きなようにこだわって絞っていました。他にも、カラスプレー・いちごを飾りつけて美味しく頂きました。





うた

「ゆきだるまのチャチャチャ」

今月の教材曲は「ゆきだるまのチャチャチャ」を歌います。パパゴンだるま、ママゴンだるま、チビゴンだるまというユニークな名前の呼び方が面白い歌です。「他にどんなゆきだるまがいるかな？」と子供たちに聞き、オリジナルの歌詞作りをしたいと思います。振り付けをしながら子供たちと一緒に楽しく歌います。雪が降れば、園庭に出て雪を感じたいと思います。

～その他の曲♪～

「ゆき」「ゆきのこぼうず」「けんかのあとは」を歌います。



描画

「ゆきだるま」

はさみが上手に使えるようになってきた子供たち。四角の紙の角を切っていく、だんだんと丸い形にしていきたいと思います。青や紺色の画用紙に、切った丸の形をのりで貼ってゆきだるまを作り、クレヨンで顔を描いたり、ゆきだるまが遊んでいる様子を描きます。どんな表情をしているのか、どんな丸になるのか、子供たちがどんな雪だるまを作るのか楽しみです。

楽器

先月に引き続きビデオを見て、ビデオの中の保育者の楽器と同じリズムで奏でて遊びます。やりたい楽器を決めて、発表会に向けてパート練習をしていきます。

サーキットポイントレッスン

鉄棒・・・つばめから前かがみになる、前回りの練習
跳び箱・・・3・4段跳び乗り

劇あそび

劇あそびをしていく中で、いろいろな役になりきることを楽しみながら行なっていきます。子供たちと劇の内容や役柄についてやりとりをしながら、オリジナルの劇をみんなで一緒に作りあげていきたいと思います。

絵本

だるまちゃんとうさぎちゃんが、いろいろなゆきだるまを作る絵本です。ゆきだるまとだるまがでてくるので違いも分かると思います。絵本の中にはうさぎの帽子の作り方など、遊びについても紹介されてるので、にじ組でもやってみようと思います。



お正月あそび

「ビニール袋凧」

ビニール袋にシールを貼ったり、ペンで絵を描いたりして子供たちの好きなように飾り付けて、自分だけのオリジナルの凧作りをします。作った凧を屋上で飛ばしてお正月ならではの遊びを楽しみたいと思います。





4さい
そらくみ

はしもと ふくおか
橋本・福岡

12月の振り返り

「うた」

「サンタが町にやってくる」(今月の教材曲)

日に日に寒くなるにつれて、クリスマスやお正月といった大きなイベントが近づいてきました。「サンタが街にやってくる」の歌詞の通り、指折り数えるワクワク感や、サンタに手紙が届くかドキドキした気持ちを込めて歌えました。

「描画・製作」

折り紙：「サンタクロス」

赤の折り紙2枚を使って1枚目で「サンタの顔」、2枚目で「サンタの服」を折りました。折筋に合わせずに「少し縦長に折る」や「少し裏に出るように折る」など折り加減を調整することができました。また『あのね、サンタの国ではね』の絵本を見て、折り紙のサンタを貼った画用紙には各々のサンタの日常が描かれていました

「サーキット運動」

今月のポイント

「跳び箱：開脚跳び・縦6段の跳び乗り、横3段跳び越し」

「鉄棒：つばめ→前まわり→忍者降り」

最初は跳びこむことに少し怖がっていましたが、思い切って前方に手をつけて、ほとんどの子が跳びきることができるようになりました。鉄棒もきれいに回ることができており、足やお尻を付かずに鉄棒にぶら下がることにもチャレンジしています。

「楽器遊び」

「カスタネット」や「タンブリン」、「トライアングル」「ウッドブロック」をみんなで交代しながらそれぞれの楽器の音や鳴らし方を楽しむことができました。また、みんなでリズムに合わせて楽器を鳴らすことも楽しんで取り組めました。

「大太鼓」「シンバル」を使った際には、今までの楽器とは違う見た目や音の大きさに、とても興味をもって活動できました。

「食育」

クッキング「冬野菜」「お鍋」

寒い冬に美味しくなる、冬野菜「白菜」「人参」「大根」などの話をしました。春から冬にかけて四季折々の野菜があることを知り、どんな味がしたかやお家でどんな料理で食べたことがあるかお店で見たことがあるかなど、冬野菜が身近に感じられるように活動できました。

1月の活動内容

「うた」

「ゆげのあさ」(今月の教材曲)

寒い冬の到来です。朝外に出ると草や土のところに霜が見られたり、水たまりが凍っていたりしているところもあります。そして、ハーッと吐く息も白くなっています。まるで汽車がポッポーっと白い煙を出しているかのようですね。そんな様子をイメージしながら歌っています。寒さも楽しさに変えて色々な遊びや製作、絵画にも繋げていきたいと考えています。他にも「たきび」「たのしいね」「みんなともだち」も歌います。



「描画・製作」

寒い日には雪もチラチラと降ってきたり時にはうっすらと積もったりします。それも子供たちにとっては楽しみの一つです。その雪の様子や雪だるまをかいたり、雪の結晶を切り紙で作ったりしていきます。

折り紙：「やっこ凧」いろいろな大きさや色の折り紙でやっこを折り、正月あそびの凧に見立てます。

「サーキット運動」 今月のポイント

「鉄棒：前回り→ぶらさがり→忍者下り

「跳び箱：開脚跳び越し グー・トン・パーの意識」



「表現遊び・劇ごっこ」

王子動物園で見たり絵本や物語に出てきたりする色々な動物の特徴を捉えてなりきって遊んだり、お話に沿って役の気持ちを考えたり、言葉のやり取りを楽しんだりします。同じイメージの中で表現することや、考えを出し合うことをしながら、それぞれの役割に自信をもって取り組み、みんなで一緒に協力しながら劇ごっこを進める楽しさや喜びが味わえるようにしていきます。

「楽器遊び」

先月は、楽器を触ること、いろいろな音を楽しむこと、簡単なリズム打ちの面白さを味わうことを中心に遊びを進めてきました。今月はそれぞれの楽器の特徴を理解し曲に合わせて合奏をし、友達と一緒に気持ちを合わせて、音を合わす心地よさ合奏をする楽しさを味わっていきます。



「お正月遊び」

新年を向かえ、ご家庭でもお正月気分を味わうことができたでしょうか。たこあげや、すごろく、カルタ・こま回しなど、日本の伝統的な遊びも楽しみたいと思います。また、年賀状などのお手紙ごっこや、いろいろな遊びから文字にも興味や関心をもてるようにしたいと思います。



「食育」 「みかん」

冬の果物の王様は何といってもみかん。こたつでほっこりしながら食べるのは格別ですね。そのみかんの仲間ってどんなものがあるのか。風邪に効く栄養についての食育をします。クッキングは子供たちと相談しながら、食べたいみかんの料理を考えたいと思います。あぶり出しの遊びもします。



5さい
かもめくみ

なかに
中谷



うた

「ジングルベル」では、歌詞の意味を一つ一つ考えながら歌っていきました。「笑い声を雪にまけば明るい光の花になるよ」という歌詞の部分に着目して、「みんなの素敵な笑い声を雪にまくと、光の花ができるんだって」と子供たちに伝えると「本当に!？」「今度やってみよう」と雪が降るのを楽しみにしていました。また、「あと〇回寝たらクリスマス!」と、毎日ウキウキしながら教えてくれる子供たちの姿もありました。

クリスマス製作

グループに分かれてクリスマスツリーを作りました。自分たちで話し合っ材料を決めてほしいことを伝えると、「木の部分はこれにしよう」「上には星をつけたいな」「葉っぱもつけたい」などとイメージを膨らませていました。「本物の木が欲しいから園庭に探しに行っている?」と園庭に探しに行っていたり、「大きい木にしたい」と言ってトイレットペーパーの芯をたくさん繋げていたり、作ったツリーをかわいく飾り付けていたり、思い思いのツリーが出来上がっていました。

お話遊び

様々な種類のペープサートを用意し、「お話遊びコーナー」として設けました。すると自分たちで役割分担をし、ペープサートを持って遊んだり歌ったり、話し合っ一つのお話を作ったりしていました。お話が出来上がると、「お話できたから見に来て!」と嬉しそうに教えてくれ、みんなの前で披露する姿がありました。

楽器遊び

グループごとに、木琴・鉄琴・大太鼓・シンバルの楽器を鳴らしてみました。大太鼓やシンバルはたたき方によって音の大きさが違うことに気付いたり、鉄琴の音の響きを聞いたり、木琴で和音をたたいてみたりと楽器に触れて遊びました。また、発表会に向けて「聖者の行進」の曲に合わせて合奏をしました。見本の動画を見ながら繰り返し行ない、自分でやってみたい楽器を選びました。様々な楽器を経験しながら発表会でしたい楽器を考えていました。

サーキット運動

12日(木)に、子供たちの考えたサーキットコースで体育遊びを行ないました。有志を募ると9人が集まり、1か月前から何度も話し合いを重ねて自分たちでコースを決めました。自分たちが考えたコースを友達が楽しんでくれるという、素晴らしい経験がきました。

描画

須磨海浜水族園で撮った写真とクレパスを使って、「自分だけの水族館」を作りました。魚の形に丁寧に切って貼り付けていたり、写真を見ながら魚の絵を描いたり、写真にクレパスで絵を描き足していたりと様々でした。作っていくうちにどんどんイメージが広がっていき、午前中の活動時間だけでは収まらず、「お昼もやりたい!」とのことだったので午後も続けて製作し、素敵な水族館が出来上がりました。出来上がった水族館には自分で名前を付けました。

1月の活動内容



うた

「ゆき」（今月の教材曲）

→雪が降り積もる景色をイメージしながら歌います。「雪やこんこ」という歌詞は、「雪よ降れ降れ」という意味が込められているそうです。雪の降る様子を表現してみたり、雪の絵本を読んでみたり、なぜ雪は降るのかを調べてみたりと「雪」についてたくさん知識を深めていこうと思います。また、「雪」という言葉から連想されるものを子供たちに聞き、紙に書いてウェブを広げていきます。

その他「思い出のアルバム」「十二支のうた」「まめまき」「鬼のパンツ」を歌います。

描画

雪の世界（グループ製作）

折り紙を切って「雪の結晶」を作ります。作った雪の結晶は、青や水色の絵の具を塗った模造紙に貼っていきます。最後に、白の絵の具を付けたタンポでポンポンと雪を降らし、雪の世界を表現しようと思います。出来上がった作品は、劇の背景として使いたいと思います。

劇遊び

生活発表会に向けて「雪の女王」という絵本を題材にして劇遊びを行ないます。様々なキャラクターになりきって演じたり、歌ったりする楽しさを味わってほしいと思います。お稽古を進めていく中で、キャラクターの心情やその心情をどのように表現すれば伝わるのか子供たちと一緒に考えていきます。台詞の言い回しやキャラクター同士の掛け合いも、子供たちから引き出していきたいと考えています。お稽古中にうまくいかずに挫折してしまうことやお友達とぶつかることもあるかと思いますが、その経験を通してまた一つ成長していく子供たちの姿を楽しみにしています。

サーキット運動

ポイントレッスン

鉄棒・・・「逆上がりからのスイング（身体保持）」

マット・・・「壁倒立」



クッキング

かもめ組さんが作った味噌とお米を使って「焼きおにぎり」を作ります。豆から作ったお味噌が出来上がり、子供たちに何を作りたいか聞いたところ「焼きおにぎり」という声が多くありました。春から頑張ってきたお米は、お鍋を使ってお米を炊き、どのようにご飯が出来上がっていくのかも知ることができればと思います。

お正月遊び

・書初め

ペンを使って「お正月の思い出」を描きます。

・遊び

「お正月遊びコーナー」を作り、こま回しや福笑い、凧揚げなどお正月ならではの遊びを取り入れていきます。

今月の乳児環境

あかの
岡野

《壁面環境》

植物：梅の花／ツバキ／七草／スイセン

季節の写真：コマ／凧／羽子板／福笑い／餅／ミカン

《天井環境》

季節の飾り物：凧／梅の花

おひさまぐみ

～指先を使った微細あそび～

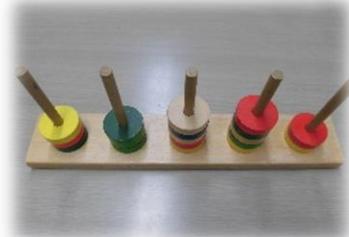
●ポットン落とし

ほかほかの部屋（主に0歳児）に常設しているおもちゃで、指先を使って穴に入れて遊ぶことができます。大きな穴から細い穴まで大きさは様々で、子供たちの指先の動きも繊細になり、ねらって入れることができるようになってきています。



●プラステン

すすすくの部屋の机上遊びです。1歳児になると穴に落とすだけではなく、細い棒に穴を通すこともできるようになります。発達に応じておもちゃを変えることで子供の指先の発達の目安にもなります。

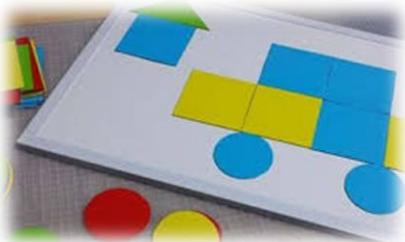


なぎさぐみ

《色あつめ》

言葉もたくさん話せるようになった子供たち。「好きな色は何色？」と聞くと「あか」や「みどり～」など子供たちの中でも色に対する興味や認識が出てきているようです。

お部屋にあるもので同じ色の仲間を探したり、様々な色のマグネットを用意し色を組み合わせ遊んだりすることが出来るような仕掛けを作っていきます。



《れんこん》

おせち料理にも使われるれんこん。穴がたくさん開いていることから「見通しが利く」、「将来が明るい」という意味が込められているそうです。食育でも取り入れるので、れんこんは、どのような場所で育つのか、食卓に並んでいる姿しか知らない子もいるので、おせち料理の写真などと一緒に掲示していきます。



今月の幼児環境

やまだ
山田

～白/赤/暖色/を基調とした色彩

：壁面環境：

植物写真：梅/ツバキ/七草（花の名前、花言葉）

季節の写真：雪だるま/雪の結晶/かまくら

仕掛け壁面：“雪ができる仕組み” “雪の結晶ってなに？”
“何で息が白くなるの？”

：天井環境：

雪/氷柱/結晶/凧

：コーナー環境：

伝承遊び：コマ遊び

編み物：毛糸で作れるもの



“冬の味覚”

子供たちの身近にあるみかん。そのみかんは1種類だけではなく、大きさや色形などが違うものがたくさんあります。階段の踊り場に、実際に違いを見て触れることができる環境を用意します。どんな反応をするのか楽しみです。

“木の積み木や木の椅子”

自然の木を使った積み木や、丸太の椅子を作りました。面白い形や大きさの違う積み木を既存の積み木と合わせて組上げることで、今までにない発想が生まれてくるのを期待しています。丸太の椅子は、直径30センチほどあるので1人で腰掛けたり、時には友達と一緒に座ってみたり、触れ合いベンチにもなります。階段踊り場に設置するので是非使ってみてください。





保健だより

看護師 榎木 なるき

年末年始何かと慌しく、子供たちも楽しい気持ちから行動も活発になり、思わぬ事故にあう機会も多いです。特に成長著しい年齢では、昨日まで出来なかったことが今日は出来ることから「これくらいは大丈夫だろう」との油断が事故に繋がります。家族、地域で子供たちを守っていきましょう。

年齢別に安全ワンポイントアドバイス（日本外来小児外科学会より）をお知らせします。



<4～7ヶ月>

何でも口に入れるので誤嚥、窒息の危険があります。（家庭内の危険なものは高さ1メートル以上の場所に置くようにしましょう。）

（口腔内直径39mm以下のものなら何でも口に入ります）

誤って飲み込んだもの（液体）がわからないときはそのもののラベルを病院に持参して下さい。

*ベビーベッドからの転落

昨日まで出来なかった寝返りができるようになって転げ落ちる可能性があります。

（傍を離れる時は必ずベット柵を上げる習慣を身に付けましょう）

<1歳～1歳5ヶ月>

*のどに詰まりやすい食品（ピーナッツなどの豆類、こんにゃくゼリー等）に注意しましょう。

*歯ブラシ、割りばし、フォークなど口にくわえて走り回ると喉に刺さったり、口の中を切ったりする恐れがあるのでやめましょう。

*ドアに指を挟んで怪我をする恐れがあります。（カバーやストッパーを付けて危険な隙間をガードしましょう。）

*転落：踏み台となるようなものをベランダや窓際に置かないようにしましょう。

<8ヶ月～11ヶ月>

*誤嚥、窒息の危険

食後食べたものがきちんと飲み込めているか確認をしましょう。

*火傷：ストーブ、台所での事故、熱湯被る、炊飯器の蒸気。

→まず冷水をかけ、皮膚に張り付いている衣類は無理に脱がさずそのまま冷やし、病院へ。

*転落：ベビーカーに乗っていて急に立ち上がり転倒、歩行器ごと階段から落ちる。

→ベルトをしっかりつけたり、階段などに柵を付けるなどしましょう。

<1歳5ヶ月～6歳>

*6歳未満の子供を自動車に乗せる時はチャイルドシートの使用が法律で義務づけられています。正しく取り付けられているか確認しましょう。

*火傷：ストーブやヒーターには安全柵を取り付けましょう。

日頃から消火器の使い方を知っておきましょう。

*三輪車や自転車に乗るときはヘルメットをつけましょう。



今月のあとびり



現在、唇を動かさずに話をする人が増えているそうです。動かさずに話をする、言葉がモゴモゴと口の中できこもり、何を言っているのか分かりづらくなります。日本人は元々唇を横に広げる動きは得意ですが、上下に広げる事が苦手です。口をしっかりと動かすことで、滑舌がよくなり、言葉がはっきりとします。簡単なことばあそびで、唇を滑らかに動かす練習をしてみましょう！！

『 あいうえおの歌 』

北原白秋 作

あめんぼ^{あか}赤いなアイウエオ、うき藻^もに小えび^こもおよいでる
柿^{かき}の木栗^{きくり}の木カキクケコ、きつつきこつこつかれけやき
ささげ^すに酢^すをかけサシスセソ、その魚^{うお}浅瀬^{あさせ}で刺^さしました
立ち^たましょラッパでタチツテト、トテトテタッタと飛び^と立^たった
なめくじのろのろナニヌネノ、納戸^{なんど}にぬめってなにねばる
鳩^{はと}ぽっぽほろほろハヒフヘホ、日向^{ひなた}のおへやにや^{ふえ}笛^ふを吹く
まいまいねじまきマミムメモ、梅^{うめ}の実^み落ちて^おても見^みもしまい
焼栗^{やきくり}ゆで栗^{くり}ヤユエヨ、山田^{やまだ}に灯^ひのつく宵^{よい}の家^{いえ}
雷^{らいちよう}鳥^{さむ}は寒^{さむ}かろラリルレロ、蓮花^{れんげ}がさいたら瑠璃^{るり}の鳥^{とり}
わいわいわっしょいワイウエヲ、植木屋^{うえきや}井戸^{いど}がえお祭^{まつ}りだ



絵：4歳児（ 雨の日の川と僕 ）

社会福祉法人種のかい

幼保連携型認定こども園 はつとこども園

〒657-0855

神戸市灘区摩耶海岸通2丁目3-14

TEL：078-805-3810

FAX：078-805-3820

携帯：080-3033-1952

Mail：hat@tanenokai.jp

URL：<http://www.tanenokai.ed.jp/>

種のかい 法人本部

Mail：tanenokai@jupiter.ocn.ne.jp